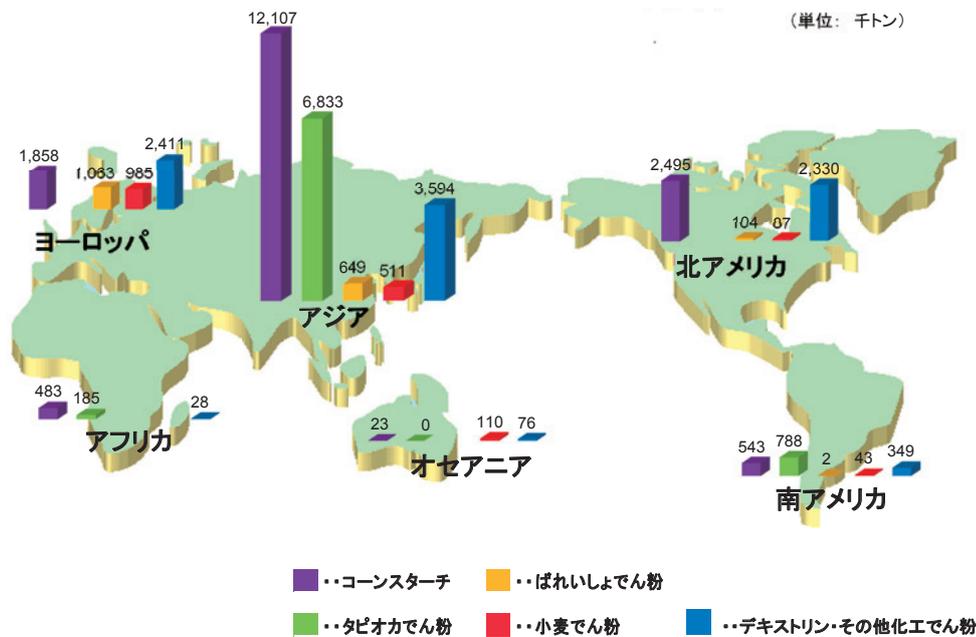


1. 世界のでん粉需給

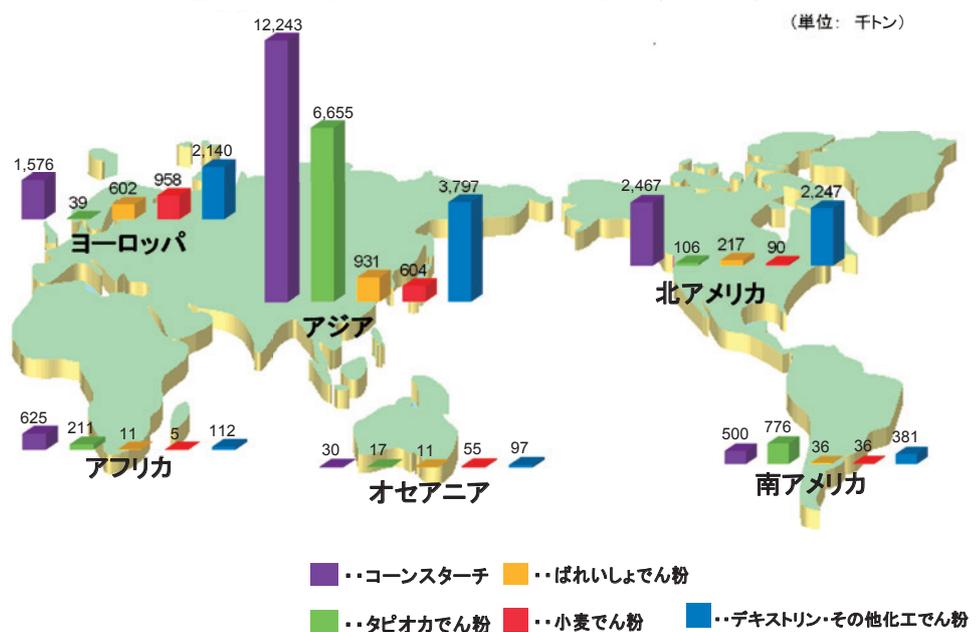
図1 絵で見る世界のでん粉生産量（2016年）



資料: LMC International * [Global Market for Native & Modified Starches 2017] を基に機構作成
 (※農産物の需給などを調査する英国の大手民間調査会社)

注: ヨーロッパには、ロシアを含む。

図2 絵で見る世界のでん粉消費量（2016年）



資料: LMC International [Global Market for Native & Modified Starches 2017] を基に機構作成

注: ヨーロッパには、ロシアを含む。

表1 トウモロコシ相場、タピオカ市価

年・月	シカゴトウモロコシ・期近 (セント/BU)			タイタピオカ (パーツ/kg)	
	高 値	安 値	平均値	キャッサバ 農家価格	チップ 卸売価格
2013年	741.25	412.00	579.77	2.13	6.61
2014年	515.75	320.75	415.91	2.10	6.76
2015年	433.50	347.75	376.57	2.16	6.78
2016年	437.75	301.50	358.36	1.52	5.66
2017年	392.25	329.50	359.29	1.40	5.14
2017年1月	369.75	355.75	361.81	1.48	5.21
2	378.75	360.25	369.21	1.53	5.11
3	375.75	353.75	362.78	1.50	5.05
4	371.00	357.00	363.01	1.27	4.71
5	375.00	356.75	366.61	1.18	4.56
6	387.75	356.75	372.28	1.15	4.75
7	392.25	361.00	377.60	1.17	4.87
8	372.25	329.50	353.12	1.20	4.96
9	355.25	338.50	347.95	1.30	5.11
10	352.75	344.50	349.39	1.41	5.46
11	350.50	336.25	343.18	1.67	5.71
12	353.75	335.75	344.55	1.95	6.23
2018年1月	361.50	346.25	352.73	2.01	6.31

資料：CME Group、タイ農業協同組合省、タイ商務省

注1：チップ卸売価格は、アユタヤ県とチョンブリー県の価格を単純平均したもの。

注2：1ブッシェル（BU）は25.401キログラム。

（シカゴトウモロコシ相場の直近のデータは、当機構ホームページの「海外情報」に掲載しています。）

<https://www.alic.go.jp/international/index.html>

2. 日本の品目別主要輸入先国の動向

本稿中の為替レートは2018年1月末日TTS相場の値であり、1米ドル=110円（109.79円）、1タイバーツ=3.55円、1ユーロ=137円（136.58円）である。

トウモロコシ・コーンスターチ

米 国

【需給動向：トウモロコシ】

消費量が上方修正

2018年2月時点の米国農務省（USDA）による2017／18穀物年度（9月～翌8月）のトウモロ

コシ需給予測によると、生産関連の数値は、前月予測から据え置かれた。一方、消費関連の数値は、価格競争力の高まりにより輸出量が上方修正されたことに伴い、総消費量も145億9500万ブッシェル（3億7073万トン、前年度比1.2%減）に上方修正された。

【価格動向：トウモロコシ】

生産者平均販売価格の下値が上昇

同じく2017 / 18穀物年度のトウモロコシの生

産者平均販売価格は、1ブッシェル当たり3.05～3.55米ドル（336円～391円）と下値が上昇し、中間値も3.30米ドル（363円）と上昇した（表2）。

表2 米国のトウモロコシの需給見通し

区 分	-単位-	2015/16 年度	2016/17 年度 (推測値)	2017/18年度					前年度比 (増減率)
				(10月予測)	(11月予測)	(12月予測)	(1月予測)	(2月予測)	
作付面積	(百万エーカー)	88.0	94.0	90.4	90.4	90.4	90.2	90.2	▲4.0%
収穫面積	(百万エーカー)	80.8	86.7	83.1	83.1	83.1	82.7	82.7	▲4.6%
単収	(ブッシェル/エーカー)	168.4	174.6	171.8	175.4	175.4	176.6	176.6	1.1%
国内生産量	(百万ブッシェル)	13,602	15,148	14,280	14,578	14,578	14,604	14,604	▲3.6%
輸入量	(百万ブッシェル)	68	57	50	50	50	50	50	▲12.3%
期首在庫	(百万ブッシェル)	1,731	1,737	2,295	2,295	2,295	2,293	2,293	32.0%
総供給量	(百万ブッシェル)	15,401	16,942	16,625	16,922	16,922	16,947	16,947	0.0%
国内消費量	(百万ブッシェル)	11,763	12,356	12,435	12,510	12,560	12,545	12,545	1.5%
飼料など向け	(百万ブッシェル)	5,114	5,467	5,500	5,575	5,575	5,550	5,550	1.5%
食品・種子・その他工業向け	(百万ブッシェル)	6,648	6,889	6,935	6,935	6,985	6,995	6,995	1.5%
エタノール向け	(百万ブッシェル)	5,224	5,439	5,475	5,475	5,525	5,525	5,525	1.6%
輸出量	(百万ブッシェル)	1,901	2,293	1,850	1,925	1,925	1,925	2,050	▲16.0%
総消費量	(百万ブッシェル)	13,664	14,649	14,285	14,435	14,485	14,470	14,595	▲1.2%
期末在庫	(百万ブッシェル)	1,737	2,293	2,340	2,487	2,437	2,477	2,352	8.0%
期末在庫率	(%)	12.7	15.7	16.4	17.2	16.8	17.1	16.1	9.4%
生産者平均販売価格	(米ドル/ブッシェル)	3.61	3.36	2.80-3.60	2.80-3.60	2.85-3.55	2.95-3.55	3.05-3.55	▲9.2-5.7%

資料：USDA/WAOB [World Agricultural Supply and Demand Estimates]

注1：年度は、9月～翌8月。

注2：1エーカーは0.4047ヘクタール、1ブッシェルは25.401キログラム。

【貿易動向：トウモロコシ】

12月の輸出量は前年同月からかなり減少

2017年12月のトウモロコシ輸出量は、358万2651トン（前年同月比9.4%減、前月比37.3%増）と前年同月をかなり下回ったものの前月を大幅に上回った（図3）。同月の主要国別輸出量は、次の通り。

メキシコ 124万7492トン

（前年同月比22.9%増、前月比10.8%増）

日本 101万1162トン

（同52.8%増、同3.8倍）

コロンビア 31万7288トン

（同1.6%増、同9.1%減）

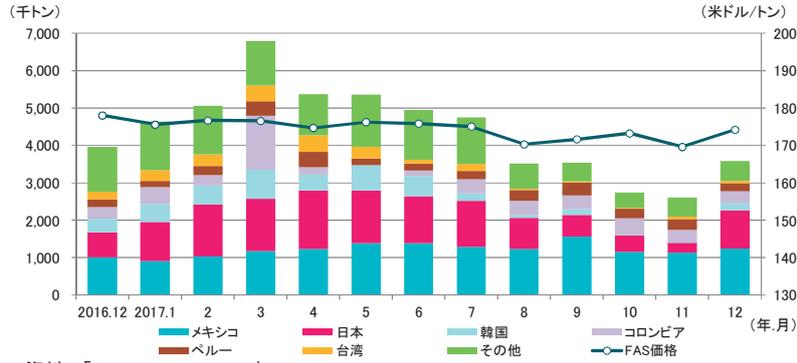
ペルー 21万1156トン

（同10.4%増、同27.4%減）

また、同月の輸出価格（FAS^(注)）は、1トン当たり174.20米ドル（1万9162円、前年同月比2.1%安、前月比2.7%高）と前年同月をわずかに下回ったものの前月をわずかに上回った。

（注）Free Alongside Shipの略。貨物を船側に付けた段階で支払われる価格。FOB価格と異なり、横持ち料（倉庫間の移動費）、積み込み料などは含まれていない。

図3 米国のトウモロコシ輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」
注：HSコード100590

【貿易動向：コーンスターチ】
12月の輸出量は前年同月と同水準

2017年12月のコーンスターチ輸出量は、6334トン（前年同月比0.2%減、前月比18.9%減）と前年同月と同水準となったものの前月を大幅に下回った（図4）。同月の主要国別輸出量は、次の通り。

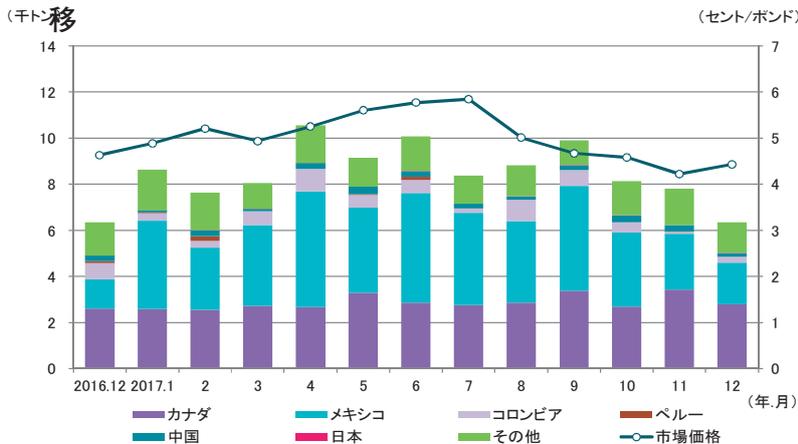
- カナダ 2802トン
（前年同月比7.8%増、前月比18.0%減）
- メキシコ 1786トン
（同40.3%増、同26.3%減）
- コロンビア 258トン
（同63.1%減、同2.5倍）

- 中国 164トン
（同37.2%減、同40.1%減）
- 日本 9トン
（同3.0倍、前月輸出実績なし）

また、同月の中西部市場のコーンスターチ価格は、1ポンド^(注)当たり4.43セント（4.9円、前年同月比4.3%安、前月比5.0%高）と前年同月からやや下落したものの前月からやや上昇した。

（注）1ポンドは0.45キログラム。

図4 米国のコーンスターチ輸出量および市場価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」、USDA/ERS

注1：HSコード110812

注2：価格は米国中西部市場における製粉業者の純費用（Net Cost）。

なお、純費用については、トウモロコシ1ブッシェル当たり平均31.5ポンド（1キログラム当たり約0.56キログラム）のでん粉が含まれているものとして、計算されている。

タピオカでん粉

タイ

【価格動向】

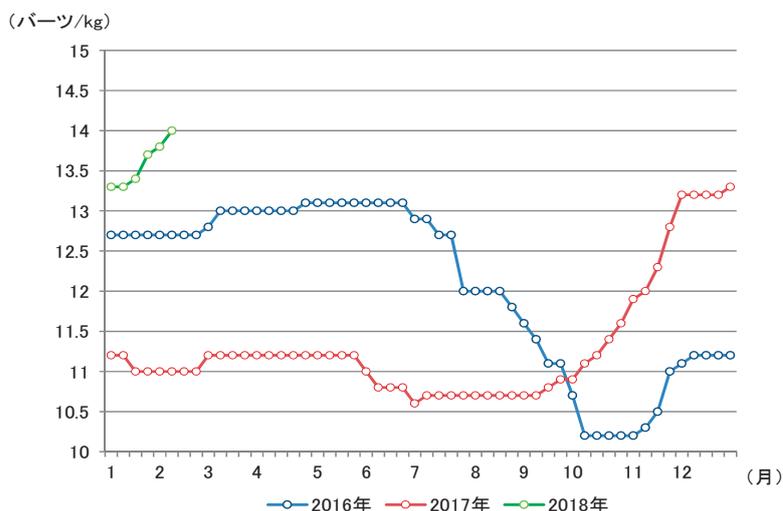
タピオカでん粉国内価格、キャッサバ農家価格ともに前年同月から大幅上昇

タイタピオカでん粉協会（TTSA）によると、2018年2月第2週のタピオカでん粉の国内価格

は、1キログラム当たり14.0バーツ（49.7円、前年同期比27.3%高、前週比1.4%高）と、2017年10月に急騰して以降前年同期を大幅に上回って推移している（図5）。

また、2018年1月のキャッサバ農家価格は、1キログラム当たり2.01バーツ（7.1円）と前年同月を大幅に上回った（表1）。

図5 タイのタピオカでん粉価格の推移



資料：TTSA [Weekly Price of Tapioca Starch]
注：当該週の特定日の価格。

【貿易動向】

12月の輸出量は前年同月および前月から増加

2017年12月のタピオカでん粉輸出量は、30万1112トン（前年同月比1.1%増、前月比16.9%増）と前年同月および前月をそれぞれ上回った（図6）。

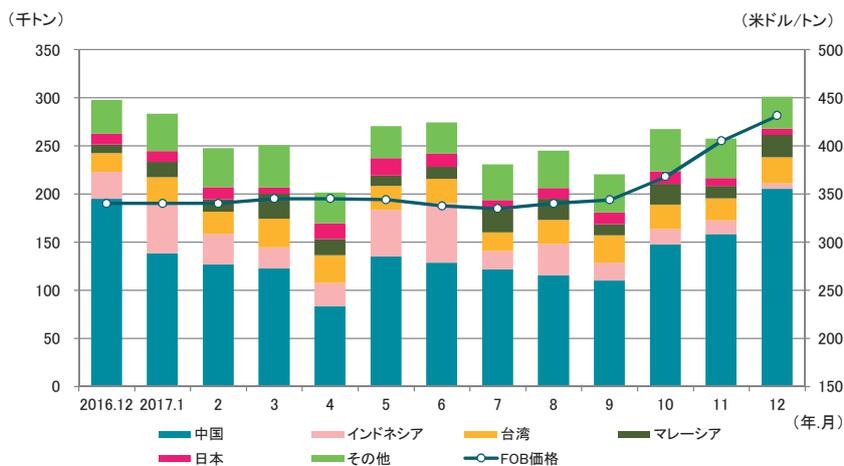
同月の主要国別輸出量は、次の通り。

中国	20万5248トン
	（前年同月比5.2%増、前月比29.5%増）
台湾	2万7141トン
	（同37.2%増、同17.7%増）

マレーシア	2万3112トン
	（同2.6倍、同81.3%増）
日本	6615トン
	（同41.6%減、同20.1%減）

また、同月の輸出価格（FOB・バンコク）は、1トン当たり431米ドル（4万7410円、前年同月比26.8%高、前月比6.5%高）と前年同月および前月をそれぞれ上回った（図6）。

図6 タイのタピオカでん粉輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」、TTSA「Weekly Price of Tapioca Starch」
注：HSコード110814

ベトナム

旧正月（テト）休暇に伴い、直近の情報を入手できなかったため、前月号の内容を再掲載する。

表3 ベトナムのキャッサバ作付面積

(単位：ヘクタール)

		2016年11月	2017年10月	2017年11月	前年同月比 (増減率、%)	前年比 (増減率、%)
北 部	紅河デルタ地域 (Red River Delta)	3,905	3,708	3,708	▲ 5.0	0.0
	北部内陸山岳地域 (Northern Midland and Mountainous Region)	87,849	73,664	73,664	▲ 16.1	0.0
	北部中央地域 (North Central Region)	55,545	60,612	60,612	9.1	0.0
	小 計	147,299	137,984	137,984	▲ 6.3	0.0
南 部	南部沿岸地域 (South Central Coastal Region)	109,427	98,774	104,178	▲ 4.8	5.5
	中央高原地域 (Central Highlands)	152,420	149,280	150,780	▲ 1.1	1.0
	南東地域 (Southeastern Region)	89,975	87,142	105,338	17.1	20.9
	メコン河デルタ地域 (Mekong River Delta)	4,257	3,939	3,973	▲ 6.7	0.9
	小 計	356,079	339,135	364,269	2.3	7.4
合 計		503,378	477,119	502,253	▲ 0.2	5.3

資料：AgroMonitor「CASSAVA & STARCH MONTHLY REPORT—January 2018」

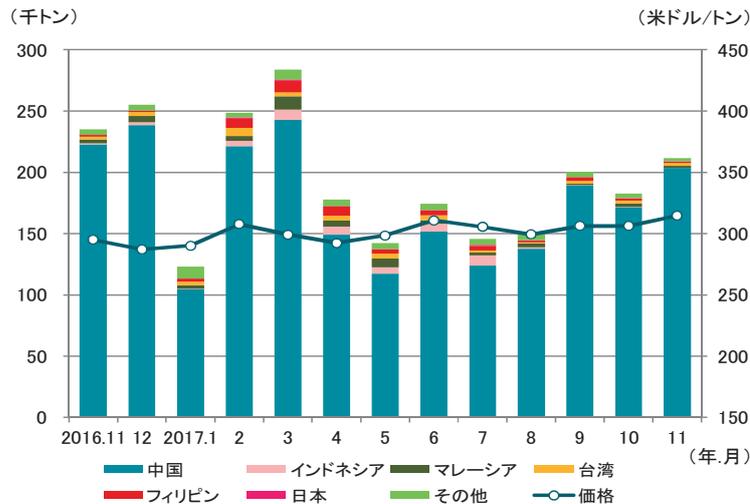
注1：原資料はベトナム農業農村開発省。

注2：2017年11月15日時点の推定値。

注3：北部では、例年2～5月に植え付けられ、同年9月ごろから収穫が始まる。

注4：四捨五入の関係から、合計と内数は必ずしも一致しない。

図7 ベトナムのタピオカでん粉輸出量および輸出価格の推移



資料：ベトナム関税総局のデータを基にAgroMonitor作成

注1：HSコード110814

注2：価格は、中国向け輸出のCFR（Cost and Freightの略。輸入港までの海上運賃が売主の負担となり、危険負担は本船に船積みしたときに終了する契約条件）平均価格。

ばれいしょでん粉

E U

【貿易動向】

12月の輸出量は前年同月および前月から減少

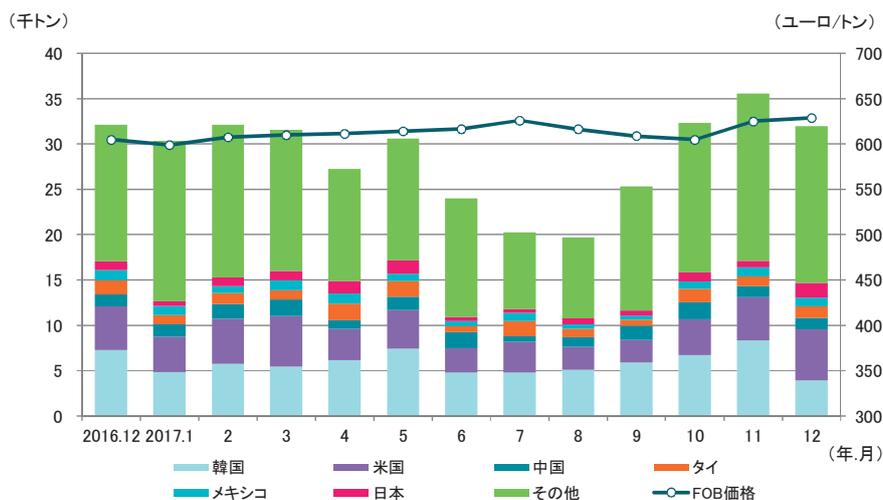
2017年12月のばれいしょでん粉輸出量は、3万1997トン（前年同月比0.5%減、前月比10.1%減）と前年同月および前月を下回った（図8）。同月の主要国別輸出量は、次の通り。

米国 5680トン
（前年同月比17.5%増、前月比18.8%増）

韓国 3879トン
（同46.3%減、同53.4%減）
日本 1622トン
（同66.7%増、同2.3倍）
タイ 1270トン
（同18.8%減、同17.4%増）

また、同月の輸出価格（FOB）は、1トン当たり629ユーロ（8万6173円、前年同月比4.0%高、前月比0.6%高）と前年同月および前月を上回った。

図8 EUのばれいしょでん粉輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」
注：HSコード110813

コラム ばれいしょでん粉の食品以外の用途

ばれいしょでん粉は、他のでん粉に比べ糊化温度が低く、最高粘度が高いことなどから、食品へ利用されることが多いが、繊維、製紙や医薬品などへも一部利用されており、食品以外の用途拡大により、将来的に需要が増加する可能性があると思われている。そこで今回は、欧米におけるばれいしょでん粉の食品以外の用途についていくつか紹介する。

身近なものとしては、のりなどの接着剤である。EU域内でも最大のばれいしょでん粉生産国であるドイツのHenkel社で製造している「Pritt Glue Stick」(スティックのり)には、ばれいしょでん粉が含まれており、日本でも販売されている(写真1)。



写真1 日本で販売されている同社のPritt Glue Stick

また、ばれいしょでん粉はバイオプラスチックや化粧品の原料としても利用されている。バイオプラスチックとは、いもやサトウキビなどの植物由来のプラスチックで、コンポスト化（堆肥化）により分解できるものが多いため、より環境に優しいとされている。バイオプラスチックに利用されるでん粉は、コーンスターチが主流だが、英国に本社を置くEasipac社は、ばれいしょでん粉を使用したスプーンやフォークなどを販売している。一方、米国に本社を置くEarth Science Beauty社は、ばれいしょでん粉を化粧品（顔パック）の増粘剤などとして活用している（写真2）。

特にバイオプラスチック市場は、年平均17%で成長し、2017年から2022年にかけて倍増するとも言われていることもあり、今後のばれいしょでん粉の需要の増加につながるか注目されている。



写真2 ばれいしょでん粉を利用した化粧品

化工でん粉

デキストリンおよびその他の化工でん粉（以下「化工でん粉」という）の主要輸出国の、主要仕向け先国別輸
出量および輸出価格は以下の通り。

タ イ

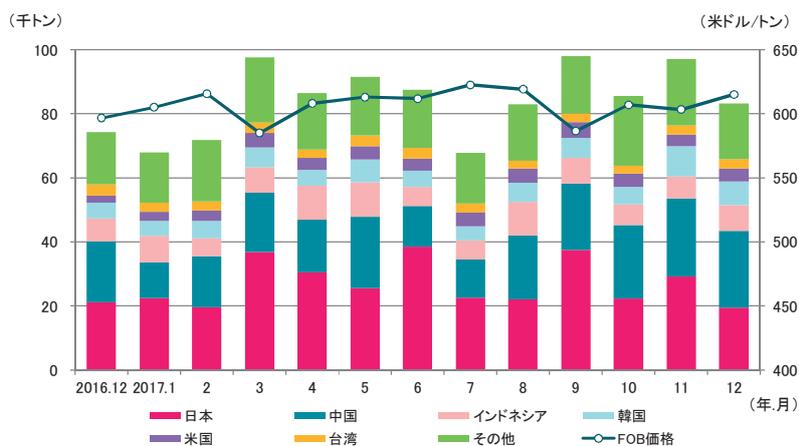
【貿易動向】

12月の輸出量は前年同月からかなり増加

2017年12月の化工でん粉の輸出量は、8万3173トン（前年同月比12.0%増、前月比14.3%減）と前年同月をかなり上回ったものの前月をかなり下回った（図9）。同月の国別輸出力は、次の通り。

中国	2万4103トン （前年同月比26.5%増、前月比0.7%減）
日本	1万9402トン （同8.5%減、同33.7%減）
インドネシア	7949トン （同12.9%増、同15.0%増）
韓国	7458トン （同53.3%増、同21.2%減）

図9 タイの化工でん粉の輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」
注：HSコード350510

米 国

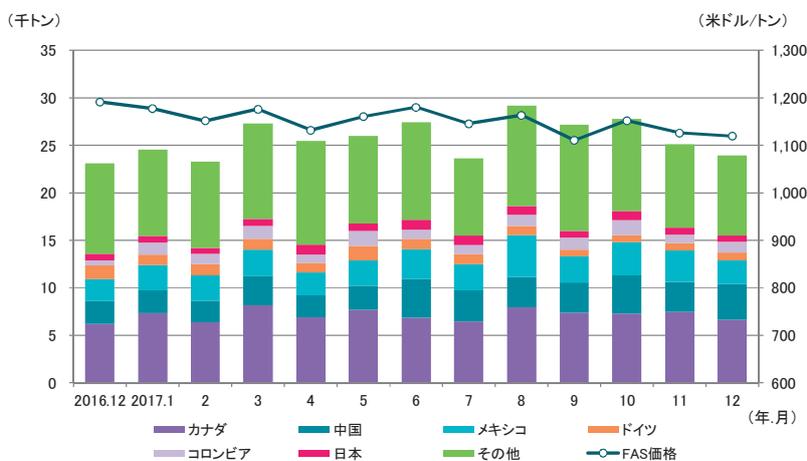
【貿易動向】

12月の輸出量は前年同月からやや増加

2017年12月の化工でん粉の輸出量は、2万3938トン（前年同月比3.7%増、前月比4.6%減）と前年同月をやや上回ったものの前月をやや下回った（図10）。同月の国別輸出量は、次の通り。

カナダ	6651トン
（前年同月比7.4%増、前月比10.4%減）	
中国	3734トン
（同57.4%増、同18.0%増）	
メキシコ	2463トン
（同5.3%増、同26.3%減）	
コロンビア	1125トン
（同2.1倍、同27.1%増）	
日本	693トン
（同2.4%減、同6.5%減）	

図10 米国の化工でん粉の輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」
注：HSコード350510

中国

【貿易動向】

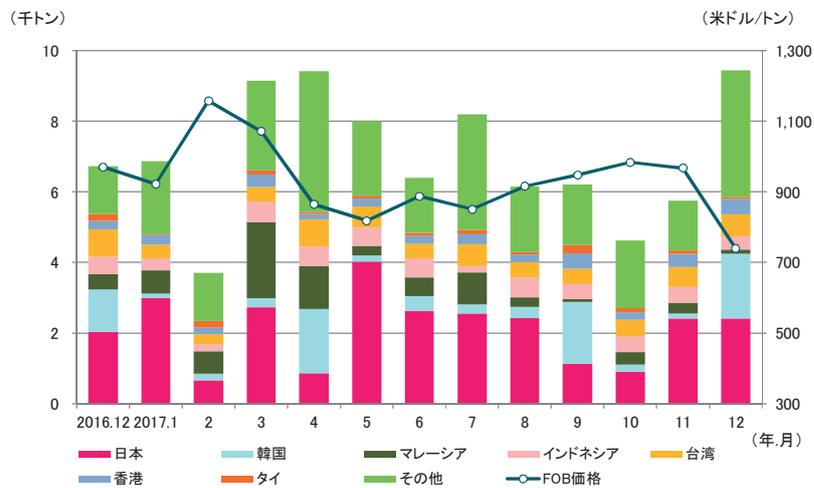
12月の輸出量は前年同月および前月から大幅に増加

2017年12月の化工でん粉の輸出量は、9437トン（前年同月比40.4%増、前月比64.1%増）と前年同月および前月を大幅に上回った（図11）。同月

の国別輸出量は、次の通り。

日本	2412トン
	（前年同月比18.7%増、前月比0.3%減）
韓国	1829トン
	（同50.9%増、同12.8倍）
台湾	628トン
	（同18.5%減、同11.2%増）

図11 中国の化工でん粉の輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」
注：HSコード350510

E U

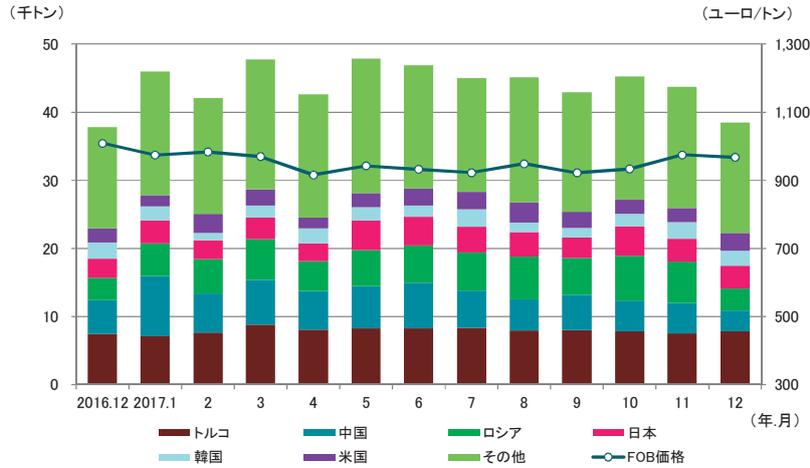
【貿易動向】

12月の輸出量は前年同月からわずかに増加

2017年12月の化工でん粉の輸出量は、3万8461トン（前年同月比1.8%増、前月比12.1%減）と前年同月をわずかに上回ったものの前月をかなり下回った（図12）。同月の国別輸出量は、次の通り。

トルコ	7840トン
	（前年同月比5.5%増、前月比3.5%増）
日本	3355トン
	（同22.8%増、同1.5%減）
ロシア	3188トン
	（同3.4%減、同47.6%減）
中国	3094トン
	（同38.3%減、同29.9%減）

図12 EUの化工でん粉の輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」
注：HSコード350510

豪州

【貿易動向】

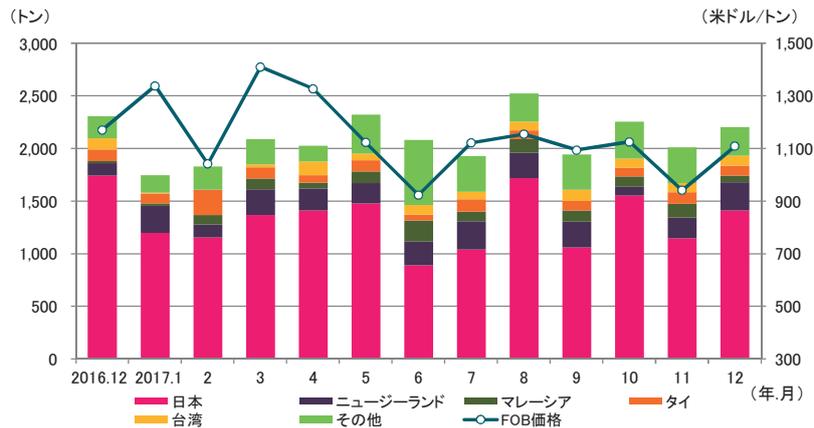
12月の輸出量は前年同月からやや減少

2017年12月の化工でん粉の輸出量は、2204トン（前年同月比4.5%減、前月比9.7%増）と前年

同月をやや下回ったものの前月をかなり上回った（図13）。同月の国別輸出量は、次の通り。

日本	1408トン
（前年同月比19.2%減、前月比22.6%増）	
ニュージーランド	273トン
（同2.3倍、同38.6%増）	

図13 豪州の化工でん粉の輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」
注：HSコード350510